

令和 2 年度 事業計画（案）



一般社団法人 全国企業主導型保育事業連合会

自 令和 2 年 4 月 01 日

至 令和 3 年 3 月 3 1 日

正念場。

令和2年 2020年私たちは今まさに激動の荒波を全力で戦い続けているといっても過言ではありません。その中、今年も全ての子ども達に最善の利益と質の高い保育を受けることを実施しようと汗と知恵を結集し、共に歩み続けていただける皆様方に心から感謝申し上げますと共に力づくよく感じております。

年末に目にした記事を振り返っていると、次のようなことがありました。

2020年の干支は「庚子（かのえ・ね）。干支は10種類の十干（じっかん）と、12種類の十二支の組み合わせの60種類が存在し、60年で一巡。2020年は十干が「庚（かのえ）」、十二支が「子（ね）」であり、2つ合わせて干支は「庚子」となります。

「庚子」が表す意味は、新たな芽吹きと繁栄の始まりであり、つまりは、新しいことを始めると上手くいく、大吉であると指し示しています。

庚と子の特徴をあわせもつ庚子の年は、一言で表すと、「変化が多い年」になると考えられます。心に影を差すような変化があれば、物事が一気に進む劇的な変化もあるでしょう。

60年前、前回の庚子にあたる1960年（昭和35年）国内では、日米安全保障条約に反対する「安保闘争」が政界を揺るがし岸内閣を総辞職に追い込みました。米国では、キング牧師らによる公民権運動のさなか、大統領選でジョン・F・ケネディが勝利。法律上の人種差別撤廃へつながる大きな一歩となりました。

ほか、日本を含む環太平洋全体を津波が襲ったチリ地震もこの年。四日市公害の被害が表面化し、大きな問題となったのも1960年でした。

新型コロナウイルスの感染拡大がリーマンショック以上の打撃を世界経済に与えるとも言われ、企業主導型保育事業の設置者や運営者は保育事業以外にも営みがあり、これらを通じ地域に貢献する中、新しい生活様式や働き方の中において新たな物事が一気に進み、劇的な変化があるするならば、我々にとってもここは重要な局面を迎えております。

このような状況を通じて保育を展開し、質の向上を図るためにWEBなどを活用した研修を進める海外では当たり前である子育てと仕事の両立、テレワークという新しい働き方と子どもが育つために必要な集団生活とは何か、また5年目を迎える企業主導型保育事業の課題解決、更には現場の声を直接届ける機会の確保もより取り組まなければならないと考えております。

まさに私たちにとって正念場です。

全ての子ども達の最善の利益を保障し、安定した保育運営と保育の質の向上を図り、横と縦のつながりを強めながら取り組んで参ります。

令和2年6月

一般社団法人 全国企業主導型保育事業連合会

会長 **木村 義恭**

■ 基本方針

全企保連の大きな3つの柱に沿いながら事業を進めて参ります。

1. 見通しをもった保育運営を目指します

常設委員会を設置し絶えず質を高め、情報を共有し保育の安定運営を目指します。

- (1) 総務委員会 (2) 政策委員会 (3) 教育・保育研修委員会
- (4) 経営研究委員会 (5) 広報委員会

2. 質の向上をはかる

子ども子育て会議 前座長無藤隆先生（白梅学園大学子ども学部名誉教授）に研修に対するアドバイザーに就任頂き保育研修プログラムを構築し、会員優先に研修を行って参ります。また公認会計士、社会保険労務士の専門家にもアドバイス頂き質の向上を図ってまいります。

3. 情報交流会の実施

企業主導型の横（地域）・縦（国や実施機関）とのつながりが少ないのが現状です。その為、各事業所は地域により様々な問題を抱え解決できないでいます。全国規模での会議や地域（ブロック）での活動を通じて情報の交流や切磋琢磨する機会を創って参ります。また会員の声を国に届け見通しを立てて運営が出来る環境の充実に努めて参ります。

■ 諸会議

① 総会 令和2年6月中に書面開催で実施

4月6日から17日までに全会員から賛成の意思確認済み

② 理事会 毎月の理事会は原則 ZOOM を活用して行います。その他、臨時の理事会は必要に応じて開催いたします。

■ 委員会活動

(1) 総務委員会

- ① 諸会議の円滑な運営
- ② 内閣府・実施機関との連絡・連携を図る
- ③ (仮称) 全国企業主導型保育事業議員連盟との連携を図る
- ④ その他必要な事項

(2) 政策委員会

- ① 内閣府・実施機関との意見交換会の開催を図る
- ② 設置者・園長 トップセミナーの開催
- ③ 要望書の提出
- ④ その他必要な事項

(3) 教育・保育研修委員会

- ① ブロック研修会研修会の開催
- ② キャリアアップ研修会の開催
- ③ 研修プログラム作成会議の開催
- ④ アンケートやヒアリングを通じた課題収集・分析
- ⑤ その他必要な事項

(4) 経営研究委員会

- ① 総務及び広報委員会との連動した情報発信
- ② 全国会議の開催
- ③ FAQ システムの充実
- ④ その他必要な事項

(5) 広報委員会

- ① HPをはじめ SNS 等の更新および発信
- ② メルマガ・広報誌の発行
- ③ 会・地区・ブロック等の情報発信
- ④ その他必要な事項

■ 全国説明会

全国のコアメンバーが地域に声掛けしていただき説明会を開催いたします。
お声を頂ければ全国どこでも実施致しますので、事務局にお申し出ください。

■ 会員数 令和3年3月31日 目標数

正会員 250社
賛助会員 50社
合計 300社

■ 役員

理事：監事

1	北海道	北海道	木村 義恭	ストロークハウス
2	北海道	北海道	渡辺 和寛	こどもカンパニー株式会社
3	東京	東京都	赤松 卓人	輝きベビー保育園
4	東京	東京都	中島 昭治	株式会社 東邦運輸
5	東京	東京都	坂本 隆宏	株式会社 f e s パートナーズ
6	南関東	神奈川県	田野岡 由紀子	学校法人山王台学園
7	北陸	新潟県	片桐 茜	株式会社ファースト・ブレイン
8	中国	山口県	眞島 美保子	有限会社リーム
9	四国	徳島県	村田 友樹	Miraicle
10	九州	熊本県	藤田 正樹	有限会社 IQ キッズ
11	北関東	埼玉県	柿沼 平太郎	学校法人 柿沼学園
12	四国	高知県	大野 香葉美	学校法人 平成学園
13	東海	静岡県	石原 淳	株式会社 フィユ
14	東北	福島県	橋本 希義	学校法人 白梅
15	近畿	大阪府	福永 浩司	株式会社ツイン
監事	九州	福岡県	小津 智一	株式会社 OZ Company
監事	東京	東京都	渡邊 敏行	学校法人 ワタナベ学園